



リリースノート

E-Series storage systems

NetApp
January 20, 2026

目次

リリースノート	1
SANtricity OS の新機能	1
バージョン11.90R4の新機能	1
バージョン11.90R3の新機能	1
バージョン11.90R2の新機能	1
バージョン11.90R1の新機能	1
バージョン11.90の新機能	1
バージョン11.80.1R4の新機能	2
バージョン11.80.1R3の新機能	2
バージョン11.80.1R2の新機能	2
バージョン11.80.1R1の新機能	2
バージョン11.80.1の新機能	3
バージョン11.80の新機能	3
Eシリーズリリースノート	7

リリースノート

SANtricity OS の新機能

E4000、EF300 / EF300C、EF600 / EF600C、E2800 / EF280、およびE5700 / EF570コントローラの組み込み管理向けに、最新のSANtricity OSリリースの新機能を次の表に示します。

バージョン11.90R4の新機能

このバージョンにはマイナーな変更のみが含まれており、新機能はありません。このリリースの変更点の詳細については、を参照してください "[Eシリーズ11.90リリースノート](#)"。

バージョン11.90R3の新機能

新機能	説明
IOM12CおよびDCM3のSANtricity OSサポート	IOM12CおよびDCM3 SAS-3シェルフのサポートは、コントローラファームウェア11.90R3以降で利用可能になりました。IOM12CおよびDCM3シェルフは、IOM12BおよびDCM2シェルフの後継機種です。

バージョン11.90R2の新機能

このバージョンにはマイナーな変更のみが含まれており、新機能はありません。このリリースの変更点の詳細については、を参照してください "[Eシリーズ11.90リリースノート](#)"。

バージョン11.90R1の新機能

新機能	説明
新しいストレージシステムモデル-EF300CおよびEF600C	このリリースでは、EF300CおよびEF600CオールフラッシュNVMeストレージシステムが導入されました。EF300CおよびEF600Cは、既存のEF300およびEF600ストレージシステムの大容量フラッシュバージョンです。EF300CおよびEF600Cでは、30TBまたは60TBの大容量NVMe SSDドライブがサポートされます。EF300C / EF600Cは、従来のRAIDをサポートしていない場合にのみ、Dynamic Disk Poolsと互換性があります。
E4000コントローラでの12Gb SASインターフェイスのサポート	E4000コントローラで12Gb SASホストインターフェイスカードがサポートされるようになりました。

バージョン11.90の新機能

新機能	説明
新しいストレージシステムモデル-E4000	このリリースでは、E4000低コストストレージシステムが導入されています。E4000は、コントローラごとに12本と60本のドライブと1つのホストインターフェイスカード（HIC）をサポートします。初期リリースでは、サポートされるホストインターフェイスカードにはiSCSIとFibre Channelがあります。E4000ストレージシステムとその他のEシリーズストレージシステムは、Unified Managerで表示および管理できます。
Dynamic Disk Poolsの容量の拡張	プール内の個々のドライブの容量が23TBを超えるたびに、Dynamic Disk Pools（DDP）の容量が12PBに拡張されました。個々のドライブの容量が23TB未満の場合、DDPの容量は6PBになります。
デフォルトのメディアスキャン設定の拡張	デフォルトのメディアスキャン速度が120日に引き上げられました。
外部キー管理で秘密鍵を承認	秘密鍵と公開鍵のペアから外部で生成された証明書署名要求（CSR）ファイルを、System Managerからインポートできるようになりました。
Web Servicesでログインロックアウト機能を使用できるようになりました	REST APIでのみ設定可能で、組み込みWebサービスとプロキシWebサービスで新しいログインロックアウト設定を使用できるようになりました。

バージョン11.80.1R4の新機能

このバージョンにはマイナーな変更のみが含まれており、新機能や制限事項はありません。このリリースの変更点の詳細については、READMEファイルを参照してください。

バージョン11.80.1R3の新機能

このバージョンにはマイナーな変更のみが含まれており、新機能や制限事項はありません。このリリースの変更点の詳細については、READMEファイルを参照してください。

バージョン11.80.1R2の新機能

このバージョンにはマイナーな変更のみが含まれており、新機能や制限事項はありません。このリリースの変更点の詳細については、READMEファイルを参照してください。

バージョン11.80.1R1の新機能

新機能	説明
新しい自己署名およびCA署名管理証明書のキーサイズが拡張されました。	SANtricity System ManagerおよびUnified Managerアプリケーションの自己署名証明書の管理証明書キーサイズが、2、048ビットから3、072ビットに変更されました。この変更は、SANtricityアプリケーションから新しく生成された自己署名証明書とCA署名証明書に適用されます。キーの長さは固定であり、NVSRAMのデフォルトのキーサイズ定義の影響を受けません。

バージョン11.80.1の新機能

新機能	説明
-identifyDevices パラメータ	新しい -identifyDevices SMcliでパラメータを使用できるようになりました。この新しいパラメータを使用すると、ストレージレイに関連付けられているすべてのSCSIネイティブブロックデバイスを検索できます。詳細については、 https://docs.netapp.com/us-en/e-series-cli/get-started/downloadable-smcli-parameters.html#identify-Devices [Downloadable SMcliコマンドラインパラメータ]を参照してください。
イーサネットカーネル統計	System Managerの[iSCSI統計パッケージの表示]ページに、新しい[イーサネットカーネル統計]オプションが追加されました。この新しいオプションを使用すると、iSCSIデバイスのプラットフォームカーネルドライバの統計を表示できます。詳細については、「 https://docs.netapp.com/us-en/e-series-santricity/sm-support/view-iscsi-statistics-packages-support.html [View iSCSI統計パッケージ]」を参照してください。
REST APIエンドポイントを使用してIPアドレスをブロックする機能を追加	[Settings]エンドポイントを使用して、特定のIPアドレスをブロックできるようになりました。(/devmgr/v2/settings)。[Settings]エンドポイントで設定すると、ホワイトリストで指定したIPアドレスだけがストレージデバイスと通信できます。この新機能では、IPv4およびIPv6アドレスリストがサポートされます。
vCenterストレージプラグイン	vCenter Storageプラグインは、Eシリーズ11.80.1リリースとの互換性を考慮して更新されています。
Web Services Proxyの使用方法	Web Services Proxyは、Eシリーズ11.80.1リリースとの互換性を確保するためにバージョン6.1に更新されています。

バージョン11.80の新機能

新機能	説明
強化されたボリュームパリティスキャン	REST APIまたはCLIを使用して、ボリュームパリティスキャンをバックグラウンドプロセスとして起動できるようになりました。パリティスキャンは、スキャン処理を完了するために必要な限りバックグラウンドで実行されます。スキャン処理は、コントローラのリブートおよびフェイルオーバー処理の間も維持されます。
Unified ManagerでのSAMLのサポート	Unified ManagerでSecurity Assertion Markup Language (SAML) がサポートされるようになりました。Unified ManagerでSAMLを有効にすると、ユーザインターフェイスを操作するために、アイデンティティプロバイダに対して多要素認証を使用する必要があります。Unified ManagerでSAMLを有効にすると、IdPを経由せずにREST APIを使用して要求を認証することはできません。
自動構成機能	アレイの初期セットアップ時に自動構成機能で使用するボリュームのブロックサイズパラメータを設定できるようになりました。この機能は、CLIでは「blocksize」パラメータとしてのみ使用できます。
コントローラファームウェアの暗号化署名	コントローラファームウェアは暗号署名されています。シグネチャは、初回ダウンロード時および各コントローラのブート時にチェックされます。エンドユーザへの影響はありません。署名は、CAによって発行された拡張検証証明書によって裏付けられます。
ドライブファームウェアの暗号化署名	ドライブファームウェアは暗号署名されています。署名は最初のダウンロード時にチェックされ、CAによって発行された拡張検証証明書によってバックアップされます。ドライブファームウェアの内容がZIPファイルとして提供されるようになりました。ZIPファイルには、署名済みの古いファームウェアと署名済みの新しいファームウェアが含まれています。ユーザーは、ターゲットシステムで実行されているコードのリリースバージョンに基づいて適切なファイルを選択する必要があります。

新機能	説明
外部キーサーバ管理-証明書のキーサイズ	<p>新しいデフォルトの証明書キーサイズは3072ビット（2048から）です。最大4096ビットのキーサイズがサポートされます。デフォルト以外のキーサイズをサポートするには、NVSRAMビットを変更する必要があります。</p> <p>キーサイズの選択値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • デフォルト= 0 • 長さ2048 = 1 • 長さ3072 = 2 • 長さ4096 = 3 <p>SMcliを使用してキーサイズを4096に変更するには、次の手順を実行します。</p> <pre>set controller[b] globalnvrambyte[0xc0]=3; set controller[a] globalnvrambyte[0xc0]=3;</pre> <p>キーのサイズを調べます。</p> <pre>show allcontrollers globalnvrambyte[0xc0];</pre>
ディスクプールの改善	<p>11.80以降を実行しているコントローラで作成されたディスクプールは、_Version 0_poolsではなく_Version 1_poolsになります。_Version 1_diskプールが存在する場合、ダウングレード操作は制限されます。</p> <p>ストレージレイプロファイルでディスクプールのバージョンを特定できます。</p>
System ManagerとUnified Managerは、ブラウザの最小要件を満たしていないと起動しません。	<p>System ManagerまたはUnified Managerを起動するには、少なくともバージョンのブラウザが必要です。</p> <p>サポートされる最小バージョンは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Firefoxの最小バージョン80 • Chrome最小バージョン89 • エッジ最小バージョン90 • Safariの最小バージョン14
FIPS 140-3 NVMe SSDドライブのサポート	<p>NetApp認定のFIPS 140-3 NVMe SSDドライブがサポートされるようになりました。これらは、ストレージレイプロファイルおよびSystem Managerで正しく識別されます。</p>
EF300およびEF600でのSSD読み取りキャッシュのサポート	<p>SAS拡張構成のHDDを使用するEF300およびEF600コントローラでSSD読み取りキャッシュがサポートされるようになりました。</p>

新機能	説明
EF300およびEF600でのiSCSIとFibre Channelの非同期リモートミラーリングのサポート	NVMeおよびSASベースのボリュームを使用するEF300およびEF600コントローラで非同期リモートミラーリング（ARVM）がサポートされるようになりました。
ベーストレイにドライブを搭載しないEF300およびEF600をサポート	ベーストレイにNVMeドライブを搭載しないEF300およびEF600コントローラ構成がサポートされるようになりました。
すべてのプラットフォームでUSBポートが無効になっている	すべてのプラットフォームでUSBポートが無効になりました。
SSD読み取りキャッシュの最大数の拡張	SSD読み取りキャッシュの最大容量が5TBから8TBに拡張されました。
デュプレックス構成での単一のボリュームへのオールフラッシュ読み取りキャッシュの割り当て	単一のボリュームがSSDキャッシュ全体を使用するたびに、デュプレックスシステムですべてのSSD読み取りキャッシュを同じボリュームに割り当てることができるようになりました。
ストレージレイプロファイルのドライブ概要テーブルにドライブのシリアル番号が追加されました	ドライブのシリアル番号がストレージレイプロファイルのドライブ概要テーブルに追加されました。
毎日のASUPにdom0-misc-logsを追加	コントローラAおよびBのdom0-miscログが日次ASUPに追加されました。
組み込みWebサービスとのアプリケーション通信にデフォルトでポート443が使用されるようになりました	組み込みWebサーバとの通信時にデフォルトでポート443が使用されるようになりました。。 <code>-useLegacyTransferPort</code> 従来の8443転送ポートを使用する代わりにCLIコマンドが追加されました。 <code>new-useLegacyTransferPort</code> CLIコマンドの詳細については、 を参照してください 。 " SANtricity CLIの新機能 "。
ボリュームパリティスキンの進捗状況機能	<p>ジョブベースのボリュームパリティスキン処理をサポートするために、次のCLIコマンドが実装されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ボリュームのパリティチェックの開始 • ボリュームチェックのパリティジョブエラーの保存 • ボリュームのパリティチェックジョブを停止します。 • ボリュームのパリティチェックジョブを表示します。 <p>ジョブベースのボリュームパリティスキンの新しいCLIコマンドの詳細については、を参照してください。 "SANtricity CLIの新機能"。</p>
Unified ManagerのMFAサポート	Unified Managerで多要素認証（MFA）がサポートされるようになりました。

新機能	説明
前面背面のハードウェアビューのトグルアイコン	System Manager / Unified Managerの[ハードウェア]ビューでは、前面ビューと背面ビューを制御するために次の2つのタブを使用できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [Drives]タブ • [コントローラとコンポーネント]タブ
vCenterストレージプラグイン	vCenter Storageプラグインは、Eシリーズ11.80リリースとの互換性を確保するために更新されています。
Web Services Proxy 6.0	Web Services Proxyは、Eシリーズ11.80リリースとの互換性を確保するためにバージョン6.0に更新されています。
Eシリーズの公称温度および最大温度を超過したイベントに対するASUPケース作成フラグを削除	処置を必要としない公称温度および最大温度超過イベントに対して、ケース作成フラグが無効になりました。
0x1209 Melイベントに対して有効なプライオリティケース作成フラグ	これで、ケース作成フラグが MEL_EV_DEGRADE_CHANNEL 0x1209 MELイベント。

Eシリーズリリースノート

このサイトにはリリースノートがありません。ネットアップサポートサイトのクレデンシャルでログインするように求められます。

- ["11.90リリースノート"](#)
- ["11.80リリースノート"](#)
- ["11.70 リリースノート"](#)
- ["11.60 リリースノート"](#)
- ["11.50 リリースノート"](#)

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。